

都市再生整備計画 フォローアップ報告書  
八幡駅前地区

令和元年12月

福岡県北九州市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見			
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性				
指標1	計画区域内居住人口	人	7,773	7,630	7,117	確定	●	×	あり	—	7,168	R01.9	×	—	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	八幡東区と同傾向である計画区域内の人口減少について、本事業により抑制することを目標とした。公共施設、道路や公園の再整備により、街なかの都市機能の向上や快適な生活環境づくりを行っているが、事業期間中に計画区域内に新たなマンション等の建設がなかったことなどにより、目標を達成することができなかった。
指標2	災害時の患者収容者数	人	入院:439 外来:1,725 計:2,164	入院:600 外来:2,765 計:3,365	入院:708 外来:3,170 計:3,878	確定	●	○	あり	—	—	—	—	—	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	市立八幡病院の再整備で、病床の面積を広くしたことや平面駐車場を確保したことなどにより、災害時に受入可能な入院・外来患者数が増加し、災害医療の充実、住民が安心して暮らせるまちづくりに寄与している。また、周辺道路の整備によって、災害時の患者のスムーズな収容に寄与すると考えられる。
指標3	JR八幡駅の年間乗降客数	千人	5,104	4,898	4,989	確定	●	○	あり	—	4,936	R01.9	○	—	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	JR八幡駅前広場や周辺道路の整備による車の駅へのアクセシビリティの向上や歩道の整備による歩行者の安全性の向上などが、年間乗降客数の減少抑制につながるものと考えられる。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見		
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性			
その他の数値指標1	JR八幡駅半径1km圏内居住人口	人	16,920	16,547	16,547	確定	●	16,540	R01.9	16,540	R01.9	16,540	—	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	公園整備によって快適な生活環境が創出されたことや、市立八幡病院の再整備等によって街なかの都市機能が向上したことなどにより、JR八幡駅半径1km圏内居住人口(対H24:98.4%)は、北九州市(同:97.4%)及び八幡東区(同:93.9%)の減少傾向と比較して、定住人口減少の緩和が図られた。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

## 2. 今後のまちづくり方策の検証

### 様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果を持続させるために 行う方策</li> </ul>	街なかの都市機能の向上や快適な生活環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市立八幡病院の移転</li> </ul>	救急・小児・災害医療を担う市立八幡病院の移転を行い、ヘリポートの設置や災害時に多くの患者を受け入れる施設整備を行うことにより、都市機能と住民の生活環境が向上した。	八幡駅前広場の改修事業などにより、引き続き都市機能の向上を図る。
	歩行者ネットワークの再構築など生活環境の改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共施設群へのアクセス道路や交差点の改良</li> </ul>	八幡駅周辺道路の改良により歩行者ネットワークの再構築や歩道の整備がなされ生活環境が向上した。	八幡駅前広場の改修事業などにより、引き続き歩行者の利便性向上を図る。
	住民の憩いの場の創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地元住民による市民花壇活動や、公園愛護会による清掃活動などを実施</li> </ul>	公園の環境整備を行い、子育て世代や高齢者・障がい者が安心して豊かな生活を送れる環境が創出された。	引き続き公園の環境整備を行うことにより、住民の利便性向上を図る。
改善策 <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりの目標を達成するための改善策</li> <li>・残された課題・新たな課題への対応策</li> <li>・その他 必要な改善策</li> </ul>	定住人口の減少緩和	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定優良賃貸住宅／高齢者優良賃貸住宅</li> <li>・ 住むなら北九州 定住・移住促進事業</li> </ul>	左記事業により、転入者の定住を支援し、人口減少を緩和するよう努めた。	引き続き、転入者の定住を図る取組みを推進することで、人口減少の緩和に繋げる。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

### 様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項